

『ロータリーの友』2月号 地区だより

横組み記事

RI指定記事

RI会長メッセージ エネルギーをクラブに注ぐ P1 RI会長 カルヤン・バネルジー

カルヤン・バネルジー会長は、テルアビブで講演をした時の経験を「非常に教養の高い科学者、企業家、エグゼクティブといった聴衆ですら、これまでロータリーについて一度も聞いたことがないという方が、大勢いらっしゃった」と述べています。そして、「私たちが行うすべてのことは、私たちの良い評判が頼りになっているのです」と、自分たちの活動について知ってもらうことの重要性について強調しています。

特集 世界理解月間 世界に羽ばたく P5

世界理解月間にちなみ、ロータリーが支援をしているロータリー平和フェローとロータリー財団学友の近況を報告しています。

手にした3つの貴重なもの ロータリー平和フェロー第8期生帰国報告 P6-8

世界平和のために活動するロータリー平和フェロー P9

ロータリー財団学友会全国組織

「日本ロータリー学友会」(Rotary Alumni Association-Japan)ついに結成! P10-11

日本ロータリー学友会代表理事 田中栄次郎

2011年10月30日、国内各地区の11のロータリー財団学友会が連合し、新組織「日本ロータリー学友会」が結成されました。

RI指定記事

2012-13年度国際ロータリー会長 SAKUJI TANAKA

平和に尽くす会長エレクト——あらゆる平和のかたちで P12-14 THE ROTARIAN 2月号

日本から3人目の国際ロータリー(RI)会長が誕生します。田中作次RI会長エレクトが2012-13年度についての抱負を語りました。

はじめる一歩 インターアクト、ローターアクト P25

今年度からスタートした欄です。第7回は「インターアクト、ローターアクト」について。

Eクラブが存在する理由 P26 THE ROTARIAN 2月号

試験的プロジェクトの実施後、2010年国際ロータリーの規定審議会で、Eクラブを常設クラブとしてロータリーに組み入れることが採択されました。コロラド州ボルダーのロータリアンのグループからできた第5450地区のEクラブワンは2002年1月に承認され、2012年4月に、創立10周年を第5450地区のほかのロータリアンとともに祝う予定です。

ロータリー入門 GLOBAL OUTLOOK 特集:ロータリアンのための持続可能性入門 P37-44
「持続可能性」という言葉は、しばしば「環境にやさしい」という意味で用いられます。しかし、環境問題は、持続可能性の一面にすぎません。経済、文化、社会的な要因も同様に重要です。これら4つの分野すべてにおいて持続可能性に取り組めば、人道的プロジェクトを実施した地域社会の利益を長期的なものにする良い機会となります。各分野で持続可能性をプロジェクトに採用する方法を、紹介しています。

縦組み記事

新たな国づくりに向けて P2-6 前岩手県知事・元総務大臣 増田 寛也

今回の大震災においては、すべての公的機関において、非常時に何を最優先してやっていくべきなのか、という心構えと訓練が足りなかったのではないかと思います。いろいろな意味で、個人または個の価値に、あまりにも偏り過ぎた時代になったのですが、一方、3月11日を経験した時に人々は、共助だとかコミュニティーといったものの大切さに、気づいてきたのではないのでしょうか。

地区関連記事

横組み ロータリー財団学友会全国組織

「日本ロータリー学友会」(Rotary Alumni Association-Japan)ついに結成! P10-11
第2640地区ロータリー財団学友会 加納章司会長

縦組み 卓話の泉 P10-11

体のバランスとめまい 堺おおいずみRC

ロータリー俳壇 歌壇 柳壇 P13

柳壇

生ビール栓を抜く音瓶もいい

田辺RC

渡部正義

生き生きと小魚真似て跳ね回り

堺RC

八木桔梗

豊満な胸と男は勝負する

大阪金剛RC

井出俊一

資格あるなしは自身が決めること

堺RC

佐々木頼典